

V 教育訓練

(教育訓練)

1 概 要

近年、災害の態様は、気候変動や社会情勢の変化等に伴い複雑多様化・大規模化の傾向にあり、消防機関の業務は、このような状況に適切に対応するため、警防、予防、救急、救助等あらゆる活動分野でその量・範囲が増加・拡大する中、専門的かつ高度な知識や技術が求められている。

群馬県消防学校では、消防職団員に対し、その使命・責務を正しく認識させることはもとより、一層の専門化・高度化を図り、業務遂行上必要となる知識及び技術の修得を図るため、国の教育指標である「消防学校の教育訓練の基準」に基づき、多様な教育訓練を実施している。

また、女性防火クラブや自衛消防隊など自主防災組織の入校も積極的に受け入れ、防災関係の講義をはじめ、消火設備・器材の取扱い、災害模擬体験等を通じ、防火防災思想の普及を図っている。

なお、消防の幹部・指導者の養成を目的として必要な知識、技術、管理能力等の修得を図るための教育訓練を実施している総務省消防庁の消防大学校には、毎年度県下から十数名が入校している。

2 消防学校の教育訓練

(1) 平成27年度教育訓練概要

消防行政を取り巻く環境の変化や住民の要望に消防機関が的確に対応できるよう、教育訓練の充実を図るとともに、知識・技術を効率的・効果的に修得させることを主眼として、消防職団員の育成に努めた。

併せて、広く開かれた学校として、女性防火クラブや自衛消防隊、自主防災組織に対する教育訓練についても積極的に実施し、防災思想の普及に努めた。

なお、平成26年度からは、日本救急医学会公認の病院前外傷救護教育プログラムで、救命率の向上に有効な「JPTEC (Japan Prehospital Trauma Evaluation and Care) プロバイダーコース」を消防職員専科教育の救急科に導入した。また、平成25年12月に制定された「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」を受けて消防庁告示「消防学校の教育訓練の基準」が平成26年3月に改正され、従来の消防団員教育の「中級幹部科」が「指揮幹部科」として拡充強化されたことから、本校も指揮幹部科を導入した。

(2) 機 構

職 名	校 長	副 校 長	教 務 係 長	主 幹	副 主 幹	計	その他職員		合 計
							嘱 託 職	臨 時 職	
人 員	1	1	1	3	4 (消防 (局) 本 部からの 派遣 4)	10	5 (内舎監2 専任講師1 医師1 その他1)	1	16

(3) 施設 (寮室収容人員100名)

施設	区分	構造	延床面積 (m ²)	摘要
敷地			22,938	
施設	本館	RC (3階)	1,241	1階 事務室、機材室、教官室、休養室、トイレ(男女)
				2階 第2教室、理化学教室、図書室、準備室、トイレ
				3階 第1教室、視聴覚教室、トイレ
	寄宿棟 (北寮)	RC (3階)	1,486	1階 寮直室、舎監室、談話室、食堂、浴室、救急実技室、洗面所、トイレ
				2階 寮室6室(4人×6室)、洗面所、トイレ
				3階 寮室6室(4人×6室)、洗面所、トイレ
	寄宿棟 (南寮)	RC (3階)	1,544	1階 大教室、特別会議室、浴室(男女)、トイレ(男女)洗面所、倉庫、機械室、寮室1室(4人×1室)
				2階 寮室4室(4人×4室)、救急実技室、談話室、洗面所、トイレ、倉庫
				3階 寮室8室(4人×8室)、茶室、洗面所、トイレ、倉庫
	屋内訓練場	RC (1階)	868	管理室、脱衣室、機械器具室、講師室、ステージ、トイレ
	燃焼実験室	RC (一部2階)	280	エアリッカラー設備、水噴霧消火設備、粉末消火設備、二酸化炭素消火設備、泡消火設備、補助訓練塔併設
	訓練塔	RC (8階地下1階)	457	煙道付 (17m・地下1階)
	補助訓練塔	S (2階)	122	ホース乾燥設備併設
	煙道	床板張	29	
水難救助訓練用施設	RC	400	25m×7コース、洗眼装置、滅菌装置一式、トイレ	
車庫	S (1階)	403	機械実習室、高圧空気充填室、エアリッカラー設備	
機械室	RC (1階)	72	給排水用設備一式、冷暖房設備一式	
屋外訓練場	芝張等	8,000	放水標的、照明設備、洗車場、自家発電設備	
駐輪場	S (1階)	29	14.7m×2m 30台分	
その他		197	LPG倉庫、合併処理槽、ポンプ室、キュービクル2基、渡り廊下等、浄化槽、井戸、屋外便所	

(4)平成27年度教育訓練実施状況(1)

平成28年3月31日現在

教育区分	月												延日数 実日数(日)	教育時間 (時間)	摘要 期・人数	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
初任教育	初任科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	164	817	68期 108人
		7(8日入校式)				17								112		
職員教育	警防科													12	70	43期 28人
	予防査察科													12	70	37期 25人
	危険物科								— 8~16					9	49	37期 23人
	火災調査科									— 18~29				12	70	37期 28人
	救急科							— 26						57	266	21期 87人
	救助科							— 1~29						29	140	43期 26人
	上級幹部科								— 8~10					3	21	4期 14人
	無線通信課程		— 28 29											2	14	45期 117人
	ビデオ硬性挿管用喉頭鏡講習										— 3			1	7	3期 21人
	ポンプ操法指導員課程													3	21	20期 65人
合計													304	1,545	542人	
													216			

平成27年度教育訓練実施状況(2)

上段:日数・(時間)

下段:人数

平成28年3月31日現在

教育区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	備考	
		日数・(時間)	日数・(時間)	日数・(時間)	日数・(時間)	日数・(時間)	日数・(時間)	日数・(時間)	日数・(時間)	日数・(時間)	日数・(時間)	日数・(時間)	日数・(時間)	日数・(時間)	人数	
団員教育	基礎教育	4 (24)												4 (24)	2日×2回	
	専科教育	82												82		
	機関科		6 (36)											6 (36)	2日×3回	
	現場指揮課程		147											147		
	指揮幹部科			2 (14)										2 (14)	2日×1回	
	分団指揮課程			79										79		
	ラッパ科				2 (10)									2 (10)	2日×1回	
	指導員研修				58									58		
	特別教育															
	一日入校		1 (5)					1 (6)						1 (6)	1日×1回	
関係団体	現地教育		27				25							25		
	計						2 (12)							2 (12)	2日×1回	
	女性防火クラブ															
	婦人消防隊															
	防火管理者															
	その他の団体															
	計															
	合計															
	合計		4 (24)	7 (41)	4 (18)	2 (10)	2 (4)	10 (35)	5 (10)	4 (16)	1 (2)	1 (2)	1 (2)	1 (2)	40 (162)	
	合計		82	174	152	58	52	226	119	171	25	40	40	40	1,099	

(5)平成27年度消防本部別入校者数(職員教育)

平成28年3月31日現在

課程 科	初任教育	専 科 教 育						幹 部 教 育			特 別 教 育			計	
		警防科 43期	予 防 査 察 科 37期	危 険 物 科 37期	火 災 調 査 科 37期	救 急 科 21期	救 助 科 43期	上 級 幹 部 科 4期	無 線 通 信 課 程 45期	ビ デ オ 硬 性 挿 管 用 喉 頭 鏡 講 習 3期	ポ ン プ 操 法 指 導 員 課 程 20期				
消防本部(局)	68期														
前橋市	15(1)	4	3	3	5	10	6	2	17(1)	1	16				82(2)
高崎市等広域	20(1)	2	2	2	2	15	2	2	21(1)	2	5				75(2)
桐生市	8	3	2	1	2	6	2	1	8	2	5				40
伊勢崎市	12	3	3	3	3	12	2	2	12	3	5				60
太田市	10(1)	5	5	4	5	4	4		10(1)	2	5				54(2)
利根沼田広域	6	1	1	1	2	6	2	1	6	2	4				32
館林地区	8(1)	3	3	3	3	5	3	2	9(1)	2	5				46(2)
渋川広域	5	2	2	2	2	7	2	1	4	2	5				34
多野藤岡広域	8	2	2	2	2	7	1	1	10	2	5				42
富岡甘楽広域	8	1	1	1	1	8	1	1	8	1	5				36
吾妻広域	8	2	1	1	1	7	1	1	7	2	5				36
計	108(4)	28	25	23	28	87	26	14	112(4)	21	65				537(8)
									※ 117						※ 542(8)

※ 消防職員以外の入校者(伊勢崎市消防団3名、太田市役所2名)を含む。

注 ()内は女性数(内数)

(6)年度別教育訓練実績表

教育区分	消防職員教育										消防団員										関係団体				合計 (A+B+C+D)									
	初任科				専科教育				その他		特別教育		計(A)		基礎教育		幹部科		機関科		ラツパ科		特別教育			計(B)		事務担当者(C)		防火管理者		その他団体		計(D)
	初任科	上級幹部科	中級幹部科	初級幹部科	警防科	予防科	危険物科	火災調査科	救急科	救助科	その他	特別教育	計(A)	普通科(新入団員)	幹部科	機関科	ラツパ科	特別教育	計(B)	普通科(新入団員)	幹部科	機関科	ラツパ科	特別教育		計(B)	事務担当者(C)	防火管理者	その他団体	計(D)				
年度	平成6	82	-	24	23	23	23	27	60	59	24	17	58	420	167	217	39	1,501	924	109	167	217	39	1,501	924	2,957	21	135	1,713		2,502	5,900		
	7	93	-	-	21	23	21	29	72	47	20	22	118	486	94	255	48	91	180	840	11	163	1,491	2,051	840	11	397	1,491	2,051	3,388				
	8	89	-	22	22	23	25	34	84	58	25	22	47	451	144	176	26	1,219	60	98	144	176	26	1,219	60	1,723	11	43	1,567	2,179	4,364			
	9	75	-	-	25	26	26	32	77	69	23	22	110	507	153	246	42	21	36	610	0	398	55	664	1,117	610	0	398	55	664	1,117	2,234		
	10	71	-	-	25	25	25	37	88	71	25	28	46	465	105	191	30	766	176	58	105	191	30	766	176	1,326	0	53	637	1,076	2,867			
	11	65	-	-	26	29	27	38	81	73	25	28	106	522	64	219	42	15	96	581	0	419	23	569	1,011	581	0	246	46	315	607	3,087		
	12	50	-	-	26	26	24	37	70	78	24	29	51	436	101	211	24	899	676	2,044	0	246	46	315	607	2,044	0	47	260	707	1,945			
	13	51	-	-	25	26	24	34	62	69	26	28	169	535	146	227	78	54	26	676	27	400	47	260	707	676	27	400	47	260	707	1,945		
	14	57	-	-	24	25	24	32	52	62	25	27	85	434	131	180	58	927	450	1,889	0	560	130	418	1,108	1,889	0	560	130	418	1,108	3,431		
	15	53	-	-	25	25	22	35	46	68	24	27	134	480	133	201	57	25	0	578	0	361	155	240	756	578	0	361	155	240	756	1,814		
	16	58	-	-	24	26	23	28	80	23	24	17	41	340	109	171	50	1,068	629	2,203	0	285	111	176	572	2,203	0	285	111	176	572	3,115		
	17	55	-	-	23	25	21	30	75	24	23	23	98	393	94	195	50	28	60	623	0	369	171	51	591	623	0	369	171	51	591	1,607		
	18	67	20	-	-	27	27	34	65	25	25	23	47	364	93	201	51	992	542	2,012	0	182	119	181	482	2,012	0	182	119	181	482	2,858		
	19	61	-	-	26	24	24	29	63	24	24	22	89	383	76	135	33	29	0	464	0	156	94	144	394	464	0	156	94	144	394	1,241		
	20	88	-	-	26	26	25	27	59	26	26	20	24	341	114	155	43	1,577	345	2,349	0	463	105	85	653	2,349	0	463	105	85	653	3,343		
	21	89	17	-	-	24	22	26	63	23	23	21	83	391	101	111	238	29	304	842	0	311	31	185	527	842	0	311	31	185	527	1,760		
	22	77	-	-	25	24	23	26	74	24	24	-	49	344	67	113	164	48	1,424	892	2,708	0	316	32	108	456	2,708	0	316	32	108	456	3,508	
	23	92	-	-	27	25	23	26	75	21	21	-	110	422	88	111	177	46	28	740	0	185	22	173	380	740	0	185	22	173	380	1,542		
	24	99	20	-	-	26	24	23	69	24	24	-	39	352	110	99	144	29	1,226	674	2,282	0	270	36	109	415	2,282	0	270	36	109	415	3,049	
	25	89	-	-	25	22	23	26	72	25	25	-	105	409	100	131	157	48	32	110	578	0	178	26	171	375	578	0	178	26	171	375	1,362	
	26	104	-	-	25	23	24	27	79	26	26	-	137	467	117	97	155	23	1,019	539	1,950	0	196	31	136	363	1,950	0	196	31	136	363	2,780	
	27	108	14	-	-	28	25	23	87	26	26	-	203	542	82	137	147	25	27	292	710	0	209	25	155	389	710	0	209	25	155	389	1,641	

※救急科 H5～15の左欄はⅡ課程、右欄は標準課程。

※消防職員教育の特別教育は、H25までは無線通信課程を同時に受講した初任科の学生数を除いたがH26からは含めることとした。

3 消防大学校の教育訓練

(1) 教育訓練目的

部	学 科	教 育 訓 練 目 的
総 合 教 育	幹 部 科	消防に関する高度の知識及び技術を総合的に修得させ、消防の上級幹部たるに相応しい人材を養成する。
	上級幹部科	消防に関する高度の知識及び技術を総合的に修得させ、現に消防の上級幹部である者の資質を向上させる。
	新任消防長・学校長科	新任の消防長・消防学校長に対し、その職に必要な知識及び能力を総合的に修得させる。
	消防団長科	消防団の上級幹部に対し、その職に必要な知識及び能力を総合的に修得させる。
専 科 教 育	警防科	警防業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させ、警防業務の教育指導者等としての資質を向上させる。
	予防科	予防業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させ、予防業務の教育指導者等としての資質を向上させる。
	救急科	救急隊長等に対し、高度の知識及び能力を専門的に修得させ、救急業務の指導者等としての資質を向上させる。
	救助科	救助業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させ、救助業務の教育指導者等としての資質を向上させる。
	火災調査科	火災調査業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させ、火災調査業務の教育指導者等としての資質を向上させる。
	危険物科	危険物保安業務に関する高度の知識及び技術を専門的に習得させ、危険物保安業務の教育指導者等としての資質を向上させる。
	新任教官科	新任の消防学校教育訓練担当職員等に対し、その職に必要な知識及び能力を専門的に修得させる。

科	コース	教 育 訓 練 目 的
緊急消防援助隊 教育科	指揮隊長コース	緊急消防援助隊の指揮支援部隊長等に対し、その業務に必要な知識及び能力を修得させる。
	高度救助・特別高度救助コース	高度救助隊、特別高度救助隊の隊長等に対し、その業務に必要な知識及び能力を修得させる。
	NBCコース	NBC 災害対応要員等に対し、その業務に必要な知識及び能力を修得させる。
	航空隊長コース	消防・防災航空隊の隊長等に対し、その業務に必要な知識及び能力を修得させる。
危機管理 ・ 防災 教育科	危機管理 国民保護 コース	地方公共団体の危機管理・防災担当、国民保護担当者等に対し、その業務に必要な知識及び能力を修得させる。
	自主防災組織 育成コース	自主防災組織の育成担当者等に対し、その業務に必要な知識及び能力を修得させる。
	自主防災組織 育成短期コース	自主防災組織の育成業務に携わる担当職員に対し、その業務に必要な基礎的知識及び能力を修得させる。
	消防団教育 訓練推進者 養成コース	消防団の教育訓練に携わる者に対し、その業務に必要な実務的な知識及び能力を修得させる。

(2)平成27年度消防大学校入校状況

	学 科	期・回	入校人数	
総合教育	幹部科	41	1	
		42	0	
		43	2	
		44	1	
	上級幹部科	79	0	
	新任消防長 ・学校長科	18	0	
		19	1	
	消防団長科	67	0	
		68	0	
	専科教育	警防科	97	1
98			1	
予防科		98	1	
		99	1	
救急科		77	1	
救助科		71	1	
		72	1	
火災調査科		29	1	
		30	2	
危険物科		10	1	
新任教官科		9	0	
合 計			16	

	コース	期・回	入校人数
緊急消防援助隊教育科	指揮隊長コース	13	0
		14	2
	高度・特別高度救助コース	5	2
	NBCコース	5	1
	航空隊長コース	15	1
防災教育管理科・危機管理科	危機管理・国民保護コース	5	0
	自主防災組織育成コース	11	0
	自主防災組織育成短期コース	1	4
		2	0
消防団教育訓練推進者養成コース	1	0	
合 計			10

